



優美さん

よろしく
頼むぞ

それじゃあ

今日から家の
お手伝いとして

はい!!



ごぶた
碁部田さん

お願い

しっかり
頼むぞお



今日から

よろしく
お願いします

んん

きゃっ

おっ
とっ
と

暮部田さん!!

すまんのう
ふらついで
しもうた

ぽん

ぽん

びっくり
しましたよ

大丈夫
でしたか?

ぽん

いやあ
危ないところ
じゃった

ぽん



えっ



ちんちんが見えちゃってる...

ポロッ

こんなに大きいものなの...



あっ 布団がはだけちゃってる

戻しておかないと

碓部田さん 風邪 ひいちゃうわ

アッ



いけないわっ

見なかったことにしておこう...



夫の○○さんのしなみんをさくらん...



○○さんの数倍...

お婆ちゃんとお勘違いされちゃってる??

どうしようブラジャーまでぬがされちゃった...

いつものパイズリしてくれえ

えっ

ともこの...

起こしちゃいましたか

あつごめんなさい



きゃあつ

ともこ おおお!!

ぬんぬん

だっ

あつ

そんな強引にっ

どうしよう 暮部田さん 止まらないっ

だめっ 止まって ください

ともこのパイズリは 最高じゃあ



結局
止められず…

ドバァァ



ともこ
パイズリ
最高じゃった

えっ

ズルッ

わしからの
お礼じゃ♥



ふう



と、とりあえず
はやく拭かなきゃ



入ってる!!

おおお
きつきつじゃ

暮部田さん
どまつてつえ

なんじゃて?



ドクドク



上手く
話せないっ

変な声
でじゃう

腰が
止まらんぞお

こんなの
知らない

ドクドク
ドクドク

ドクドク

ぬ



どろどろ

びしょびしょ
びしょびしょ

びしょびしょ



締め付け
られたら
♡

そんなに



でるう



イッちやつた...

私...



中に
出された
あげく...

びしょびしょ

碓部田さんの
精力は
尽きることなく

何度も何度も
抱かれ…

考えることも
できなく
なっていき…

気が付けば
日が暮れて
いました

優美の
帰りが遅くて

ごめん下さ

優美の夫の
○○です

心配になって
迎えにきて
しまった

ガッ
ガッ
ガッ

帰り遅いから
心配になって
迎えに来ちゃった

〇〇さん
すいません

気が付いたら
こんな時間にな
ってて…

すまんのお
わしもうっかり
しとったわい

そんな汗だくにな
るくらい
頑張って仕事
してたんだな

は、はい
そうですね…

と、とりあえず
帰る支度
してきますね…

あっ

あ
あ
あ



暮部田さんの
悲しそうな
顔みたら…

また
お婆ちゃんの
ふりしちやつてる

おお
気持ち
いいぞお



ともこお
セックス
するぞお

私は
ともこさん
じゃないですよ

わしが妻を
間違える
わけないぞ!!

そんな
嘘ついて
俺のこと嫌いに
なったのか?



どうしよう…
抱かれるたびに
気持ちよくなってるっ…

おお
この膣
最高じゃ

搾り取るように
絡みついて
くるぞ

おん



嘘…

だめっ

えっ…
そんな…



優美さん♪

実はのお
婆さんじゃない
ことはわかって
いたんじゃないよ



キスと
ピストンで
頭おかしくなる



ああ
ダメなのに

いっほ

いっほ



いまさ
拒否しても
遅いのじゃ

んん
舌が入って
くるっ

いっほ



いっほ

いっほ

〇〇さんへの
言い訳…

無理…
もう

免罪符はない…

もう何も
考えられないっ♡



おお
凄い上手く
なってるぞ



恥ずかしい
です



ノーハンドなのに
搾り取られるわ♡

すごい
出てる♡



よく
似合っ
てるよ

見て
みい



ご褒美
じゃぞ

お
お
お



見てる
だけでも
う
ギンギン
じゃ♡

出張が終わり
予定より一日早く
帰ったきた

しかし家に
優美は
いなかった

もしかすると
また遅くまで
お手伝いを...と思い

すいませ〜ん

また碁部田家に
来てしまった

フーン...

人の気配は
あるんだけど...

やっぱり

優美の
靴があった

なんか
聞こえる...

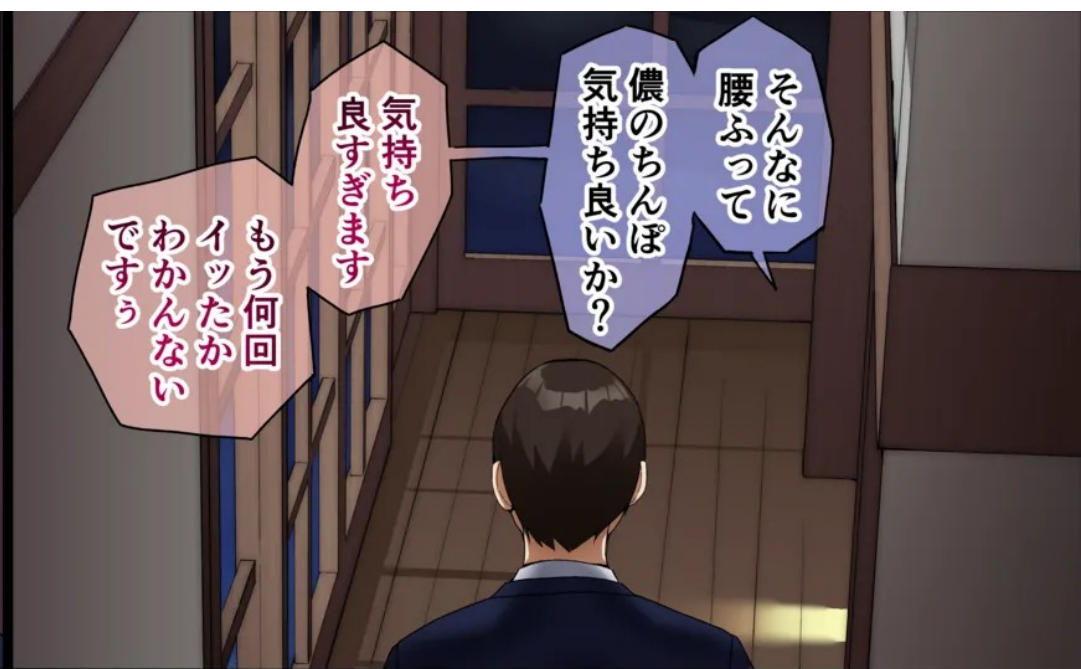
ほん
おん
ぬい
おん
ぬい

が

鍵が
開いてる...



なんだこの会話…

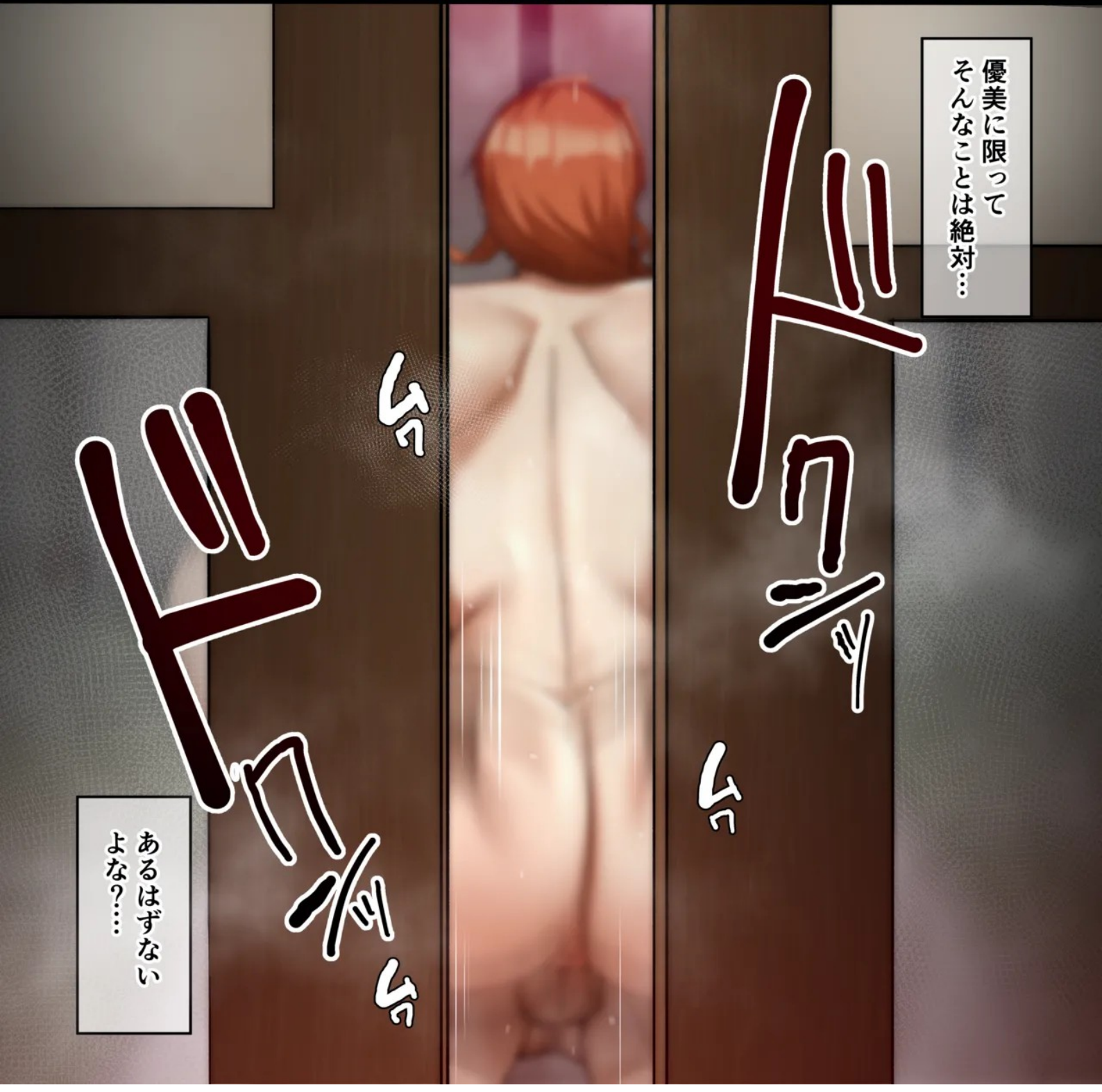


そんなに腰ふって

儂のちんぽ気持ち良いか？

気持ち良すぎます

もう何回イッたかわかんないですう



優美に限ってそんなことは絶対…

あるはずないよな？…

嘘だよな…

優美…

目の前に
広がったのは…

老人の中出しを
嬉々として
受け入れよがる

妻：
優美の姿でした…

びゅるるる

びゅる

びゅる

びゅる

一番
深い



びゅる
びゅる

びゅる

びゅる

びゅる

